

第1回多職種合同研修会アンケート

回答数 54件

回答率 77.1%

1. あなたの基本情報を教えてください

(人)

性別	年代							計
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	
男性	1	3	2	0	1	0		7
女性	2	5	10	21	3	0	4	45
不明				1			1	2
計	3	8	12	22	4	0	5	54

2. あなたの所属を教えてください

(人)

① 病院関係	3	⑥ 訪問介護・看護（通所含む）	14
② 居宅介護支援事業所	20	⑦ 小規模多機能型居宅介護	4
③ グループホーム	10	⑧ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	0
④ 介護老人保健施設	0	⑨ 介護療養型医療施設	0
⑤ その他施設	2	不明	1

問1 現在、情報共有のために取り組んでいることはありますか？

(人)

ア あり	22
イ なし	22

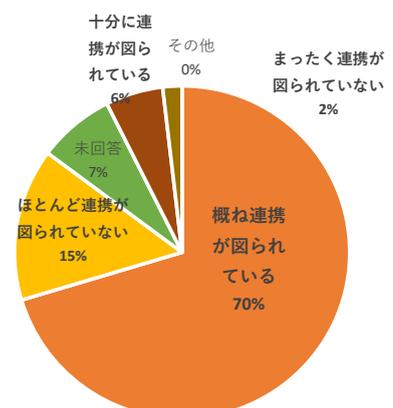
【ありの内訳】 ( )は所属、年代

- 入退院連携の用紙を活用し、出来るだけ病院へ出向いて話をするようにしている。(⑦50代)
- 入退院シートを活用している。(②40代)
- 地域ケア会議・研修会等の参加(②50代)
- グループホーム内で起きたことなどを申し送りで伝える。(③20代)
- 地域連絡票の作成など情報提供。(①50代)
- 退院前や退院後など担当者会議に参加する。(⑥30代)
- 月1回ケアマネへの報告書の提出。(⑥20代)
- 状態変化があった時は、こまめに病院連携室やケアマネに報告。(⑥20代)
- 外部のリハ職と在宅生活に向けて3か月に1回情報共有の時間を取っている。(⑥年代不明)

問2 現在、医療と介護の連携は図られていると思いますか？

(人) (%)

ア 十分に連携が図られている	3	5.6%
イ 概ね連携が図られている	38	70.4%
ウ ほとんど連携が図られていない	8	14.8%
エ まったく連携が図られていない	1	1.9%
オ その他	0	0.0%
未回答	4	7.4%



問3 医療介護連携を図ろうとした時に、困難さを感じる(た)事がありますか？

	(人)
ア ある	29
イ ない	16

【ア ある場合の理由】 ( )は所属、年代

- 医療内容、専門用語がきちんとわからないため、連携が取りづらい。(⑥50代)
- そんなことで相談したのという聞き方をされると、次に相談しにくくなる。(⑦50代)
- 医療機関によっては、連携情報のない時や相談に乗ってくれない時もある(②50代)
- 忙しそうにしているため、思うように聞けない時がある。(②40代)
- 病院から連絡しても、なかなか来院してくれないケアマネ・事業所があります。(①40代)
- 在宅での生活の現実問題が分かっていないと思う。(②40代)
- 病院から退院許可が出たと連絡あるが、家族から何も聞いていないといわれた。(②40代)
- 医療の敷居の高さ、介護の勉強不足。(⑥50代)
- 退院時カンファレンス(院内)にケアマネを呼んでももらえない。(②50代)
- 看護師によって言うことが違う時がある。(②50代)
- 市内から遠い。(③年代不明)

問4 在宅医療介護連携を進めていくために情報共有ツールの必要性を感じますか？

	(人)
ア 十分に感じる	35
イ 概ね必要性を感じる	15
ウ あまり必要性を感じない	1
エ 必要性を感じない	0
オ その他	0

問5 在宅医療や在宅介護を進めるために必要なことは何だと思えますか？(複数回答可)

	(人)
ク 医療・介護に携わる関係者の連携強化	30
イ 訪問診療を行う医療体制の整備	29
ウ 症状が悪化した時にいつでも入院できる医療体制	28
ケ 市民向けの医療・介護サービスの情報提供	16
ア 24時間体制の介護サービス	14
エ 介護休暇などの介護者の職場の理解	11
カ 家族の負担を軽減する訪問サービスの拡充	10
キ 高齢者が安心して住める住居の整備	9
オ 家族の負担を軽減する通所サービスの拡充	9
コ その他 (家族への介護教室)	1

問6 医療と介護の連携を図るために、連携を深めるための工夫、提案等がありましたら、自由に記入してください。

- 退院に際し、サマリーさえない病院があるので、共通の様式・共通のツールが西北管内どこの病院でも使用し、情報が得られるようできればと思う。また、定期的な勉強会のようなのがあれば良いと思う。